

FUJI UNIV. 富士大学広報誌

FUJI UNIVERSITY INFORMATION

■ 大学院 / 経済・経営システム研究科 ■ 経済学部 / 経済学科・経営法学科・経営情報学科

2018.12.1

No.46

建学の精神

本学の教育理念は、**人類の築き上げつつある**学術文化を研究・教授し、**深い教養と総合的判断力**を具えた豊かな人間性を養うことによって、**平和的かつ創造的な文化の向上と活力ある社会の発展**に寄与する人材を育成するにある。この理念に基づき、特に**地球的・国際的視野の涵養**、**創造的・実践的知性の開発**、**自発的・奉仕的精神の体得**を目標として、心身ともに健全な学生の育成を期する。

本学のモットー

思索と行動は人生の双つの翼だ



富士大学

〒025-8501 岩手県花巻市下根子 450-3
TEL0198-23-6221・FAX0198-23-5818

第15回「地域創生の実現に向けてⅢ ～次期県総合計画のコンセプト・幸福社会の実現は 本当に地域創生を導くか?～」と題しシンポジウムが行われました。



7月19日(木)、「地域創生論」最終回の第15回目は「地域創生の実現に向けてⅢ～次期県総合計画のコンセプト・幸福社会の実現は本当に地域創生を導くか?～」と題しシンポジウム形式で行われました。パネリストとして岩手県副知事の千葉茂樹氏、花巻市長の上田東一氏、岩手日報社報道局次長の熊谷宏彰氏の三氏をお迎えし、コーディネーターを岡田秀二学長が務めました。

今回のシンポジウムの狙いはどこにあるか。コーディネーターの岡田学長は次のように述べました。「将来の姿を模索する地域にとって重要なのは、県や市町村の地域創生への考え方やその実現方法である。岩手県は2019年度からの次期総合計画を立てることにしており、その大事なコンセプトは『幸福社会』の実現であるとされる。確かにこのコンセプトは魅力的であるが、県民の生活実感と離れ、目標共有が出来ないということはないだろうか。このシンポジウムではこうした問題意識を軸に各パネリストから話題提供をいただき、これに対する意見交換を行うことで地域と地域創生の将来を模索し、その内容を地域創生に関する意見の一つとして計画担当の方々に届けられればとも考えている。」

こうしてシンポジウムでは各パネリストから個別報告がなされました。千葉副知事からは「『地域創生』の実現に向けて～岩手県のふるさと振興の取組～」として岩手県の「地域創生」の概略と実績、そして次期総合計画の狙いや考え方、方法等。上田花巻市長からは「地域創生の実現にむけて」と題して県の次期総合計画に関するコメントや花巻市の地域創生政策の実績等。熊谷岩手日報報道部次長からは「地

域創生の現場」というタイトルで、岩手県内における地域創生に関してジャーナリストの立場からの見解など。

それぞれの報告には、会場を代表する形で、岡田学長から質問が出されました。千葉氏には次期総合計画にある「第4次産業革命」の意味、「幸福」を指標として加えた背景、上田氏には花巻市の若者支援と高齢者ケアのバランス、そして熊谷氏には若者の地元定着のためのアイデア等々。それぞれの立場の地域創生の方向性はどこにあるのか、具体的な問題に即して語られていきました。

限られた時間でしたが、改めて県や市の地域創生の考え、方向性とその課題を考える良い機会となりました。そしてまた、地域の価値を知ってそれをさらに創造してゆく人材の重要性と、大学という社会的存在との関連を意識するシンポジウムともなりました。

「岩手・留学生日本語弁論大会」で最優秀賞と学生審査員賞を受賞。

世界平和女性連合(WFWP)岩手留学生日本語弁論大会実行委員会主催の「岩手・留学生日本語弁論大会」が7月21日(土)に花巻市交流会館を会場に開催されました。出場者は岩手県内に在住している外国人留学生で、ロシアやトルクメニスタン、韓国など様々な国からの留学生が参加し、日本語でスピーチを行いました。

本学からは、モンゴル出身の大学院2年ジャミヤンスレン ミャクマルドルジさんが出場しました。

「私には夢がある」のテーマで、留学経験のある日本や韓国、母国であるモンゴルの国民性の違いなどについてスピーチを行い、将来は留学で学んだことを生かして、モンゴルの新しい未来を作りたいと夢を語りました。

ミャクマルドルジさんは、最優秀賞と学生審査員賞を見事受賞しました。



Wild Cup
2018

岩手県農林水産部 政策提案型 調査研究コンテスト「Wild Cup 2018」 大学生グループ部門賞受賞

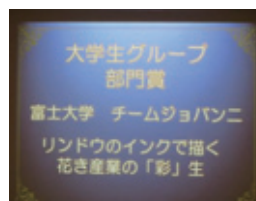
8月10日(金)、岩手県水産会館5階大会議室にて行われた岩手県農林水産部が開催する政策提案型調査研究コンテスト「Wild Cup 2018」大学生グループ部門において、相澤ゼミ所属、経済学部3年生の森田さくらさんと天羽翔太さんの「チームジョバンニ」(テーマ『リンドウのインクで描く花き産業の「彩」生』)が「大学生グループ部門賞」を受賞しました。

この岩手県農林水産部 政策提案型調査研究コンテスト「Wild Cup」は、今回で3回目であり大学生グループ部門は今年から設けられたものです。本学からは、上記の相澤ゼミの他、堀ゼミからテーマ『地域資源を活用した「和カフェ」による事業展開』として経営法学科3年佐々木健さんが参加しました。

場所をエスポワールいわてに移し表彰式及び交流会が開かれ、部門賞に輝いた「チームジョバンニ」には、賞状、盾、副賞の「いわて牛」と米「金色の風」が贈られました。

プレゼンテーションの1番目に発表した佐々木健君の発表もすばらしく、本学の2チームとも、他の大学生グループを引き離す高得点だったとのことです。

県の課長さんからは、「リンドウのインク」は他に類の無い秀逸した発想だとのこと褒めの言葉をいただき、森田さくらさんには、インクの実現が期待できる段階には是非その会議に参加して欲しいとのお願いもありました。多くの方々から称賛の言葉を頂きました。



フィールド・ラーニング報告「寒冷フィールドサイエンス教育研究センター」にて実施

本学と岩手大学農学部は、2016 年 5 月に「寒冷フィールドサイエンス教育研究センター（FSC）」（岩手大学農学部附属教育研究施設）の共同利用について協定締結をしています。

今年度も前期は 2 回のフィールド・ラーニング（FL）授業を行いました。一次産業と地域と経済学の結びつきを体験型学習を通して学びました。

1 滝沢農場、滝沢演習林でのフィールド・ラーニング

日 時：7 月 11 日（水）午後

参加者：教養演習（1 年生…高畑ゼミ、高坂ゼミ、関上ゼミ）

専門基礎演習（2 年生…遠藤ゼミ）の、学生 17 名、教員 3 名 計 20 名

内 容：滝沢農場…トマト畑のマルチ張りと苗の定植作業 1 2

滝沢演習林…花巻木質バイオマス発電を事例に森林利用の地域経済効果や森林の果たす

多面的機能（土砂・洪水災害防止、水源涵養や保水）等、林内を散策しながらのミニ講義 3



学生の感想

◆やはり大事なのは地域を主体とした経済だということを改めて感じた。林業は今後の日本が力を入れていくべき産業であり、その必要があると考えた。

◆今、日本は木を持て余している事を知った。何故、自国の資源を活用しないのか、調べてみたい。

◆人間がエネルギーを得られるのは食物によるが、その食物は太陽エネルギーによって成長することから、太陽とエネルギーのつながりがわかった 等々。

2 御明神(雫石町)牧場と御明神演習林でのフィールド・ラーニング

日 時：8 月 1 日（水）～2 日（木）1 泊 2 日

参加者：共生社会論受講生（担当：高橋栄幸先生）、教養演習（藤原・遠藤ゼミ）、学友会執行委員の学生 12 名、教員 2 名 計 14 名

内 容：御明神牧場…ミニ講義では、農業は、食品素材生産額として GDP の 1% ほどにしかないが、消費者の手に届くまでの下流の製造業、流通業、飲食店等を加えると GDP10.4%（2010 年）の規模となり重要であること。そして農畜生産（一次産業）にとどまらず、加工（二次産業）、販売収入（三次産業）を手がける（6 次産業化）ことにより、収入を増やせるという話をいただきました。4

牧場実習は、牛舎管理体験（牛の鼻紋（人間でいう指紋）の採取、雄牛の去勢手術と雌牛の卵巣超音波検査排卵予知の見学、子牛への人工授乳作業体験等）でした。5

御明神演習林…ミニ講義で、林業先進国であるオーストリアの状況の紹介。持続的な森林経営が重要で、そこは経済学の出番。経済学を学ぶ学生には、日本でも、そのことをもっと考えて欲しいという訴えがありました。その後は、林内での高性能林業機械運転実習（バックホーのアタッチメントのザウルス型グラブを操作しての切断短材丸太の積み上げ競争）を全員が体験し、現代林業に触れました。6



学生の感想

◆自然資源に恵まれている日本では一次産業の維持は社会の支えの鍵になれる。

◆森林が地球環境の保全に寄与していることを知り、林業の大切さを知った。

◆畜産は防疫管理がたいへんで細心の注意が払われていることを実感した 等々。



田野畑村 明戸地区防潮林再生記念植樹会に参加しました。

地域貢献とボランティアの一環として、8 月 25 日（土）岩手県・田野畑村で開催された「明戸地区防潮林再生記念植樹会」（主催／岩手県沿岸広域振興局、田野畑村、岩手県緑化推進委員会田野畑支部）に、本学から学生 3 名（4 年生 1 名、3 年生 2 名）と職員 1 名が参加しました。

7 年前の東日本大震災によって、明戸地区の防波堤と防潮林はほぼ全てが壊滅し流失しました。（写真 1…震災前）（写真 2…震災後）その後 6 年をかけて行ってきた明戸地区の復興事業は、今回の防潮林植樹で最終となる見込みのようです。長い歴史の中で集落を守ってきた防潮林を再生すべく、地元の方々ははじめ参加者約 100 名で、鳥取県で育てられたクロマツの苗木 500 本を丁寧に植えました（写真 3）。今年度中に 12,000 本の植樹をする計画となっています。

今回植樹したクロマツが 20m の高さに成長し、防潮林となるのは 40 年後となる見込みです。

参加した学生のコメント

佐々木 和さん（4 年・小林ゼミ）

「震災後 7 年経ちましたが、甚大な被害を受けた場所に立ってみると、まだまだ復興には長い時間がかかると強く感じました。今回植樹したクロマツの苗木が大きく育ち、この地区に暮らす多くの人々を守ってほしいと願いながら、一本一本植えさせていただきました。」

五十嵐 舞さん（3 年・東海林ゼミ）

「震災による大きな被害を受けていない私ですが、現在、復興整備が進む中で、改めて津波による被害に遭われた地区に伺いました。防潮堤の震災遺構を見て、当時の悲惨さを目の当たりにしました。一緒に参加した地元の子供達の未来に、少しでも力になればと思い込めて植樹しました。」

小野寺 一磨さん（3 年・鈴木ゼミ）

「同じ岩手に暮らす者として、沿岸地区でこのような会に参加できて良かったと思います。今回植えた苗木が無事に成長し、将来、この地区の災害が最小限に食い止められることを願っています。これからも地域の活動に積極的に参加し、少しでも貢献できればと感じました。」

岩手県立遠野高等学校 総合学習 「新しい『遠野物語』を創るプロジェクト」への支援

TONO MONOGATARI



本学は、岩手県立遠野高等学校の総合学習「新しい『遠野物語』を創るプロジェクト」に、スポーツ振興アカデミーと地域連携推進センターが共同して参加します。

このプロジェクトは、遠野高校が独自に立ち上げたもので、遠野市の地域資源を生かした新しいまちづくりや産業振興を担う人材の育成を図ることを目的として、平成29年度からスタートしました。

本学は今年度、プロジェクトへの協力要請を受け、県内の大学として初めての参加することになりました。

本学が担当するテーマは、2020年東京パラリンピックで、遠野市がブラインドサッカー競技ブラジル代表チームの事前合宿地となっていることから、「遠野市スポーツ資源を活用した人・

まち・仕事創生『ブラインドサッカーをテーマに』としました。

全12回の講座では、スポーツが持つ地域活性化力を29名の高校生の皆さんとともに考え、地域創生、地域課題解決につなげていきます。本学の持つ資源を活用して、高大連携の促進、遠野市をはじめとする地域の関係団体との連携を深め、地域貢献に取組みます。

- 担当**
- スポーツ振興アカデミー
副アカデミー長、講師 内城 寛子
研究員、サッカー部監督 高鷹 雅也
 - 地域連携推進センター
事務長、準硬式野球部監督 高橋 直樹

平成30年度 岩手県立遠野高等学校の総合学習「新しい『遠野物語』を創るプロジェクト」概要

- 対象 1・2年生 277名
- 内容 遠野高校と遠野市内外 計9団体が提示した12テーマから、生徒自らが選択して参加
- 参加団体 遠野市、遠野みらい創りカレッジ、JTB東北、Next Commons、遠野テレビ、遠野ふるさと公社、富士大学、To Know

- 日程**
- 5月 1日(火) 開講式
 - 6月 5日(火) 講座説明会
 - 6月12日(火) 協定書調印式
 - 6月26日(火) 全12回
～2月19日(火)
課題探究～情報収集～解決策の提言
報告書作成、プレゼン
 - 3月(予定) 全体発表会

NHK大学セミナー開催

12月5日(水)、本学階段教室にて、学生向けにNHK大学セミナーを開催します。

山本浩氏(スポーツ評論家・元NHKエグゼクティブアナウンサー)を講師にお呼びし、『私たちのインテリジェンスがスポーツを面白くする～スポーツの可能性を拓き続けるジャーナリストからの提言～』として開催されます。

■講師：山本 浩(やまもとひろし)■



1953年4月、島根県生まれ。東京外国語大学ドイツ語学科卒。

1976年、NHKに入局。2009年3月に退職するまでの20年以上、サッカーなどスポーツ中継を担当。サッカー日本代表がW杯に初出場した1998年フランスW杯の初戦vs.アルゼンチンの実況を担当。現在、法大スポーツ健康学部教授。

数々のスポーツの名場面を言葉の力で我々の記憶に残してきた元NHKエグゼクティブアナウンサーの山本浩氏が富士大学に入学！300名の富士大学生とともに「スポーツの可能性」を切り開く人間のインテリジェンスに迫ります。

第18回 全国高校生童話大賞

本学の所在する岩手県花巻市は、宮沢賢治の生誕の地であり、好奇心と想像力にあふれた賢治の精神は今もこのまちに息づいています。優れた童話を数多く残した宮沢賢治にちなみ、2001年から始まった「～賢治のまちから～全国高校生童話大賞」。多感で夢と想像力に富む年代の高校生に、その瑞々しい感性と創造性を引き出す機会を提供しようと企画され、今年で18回を迎えました。

第18回の上位入賞者4名をお迎えし、12月15日(土)花巻駅前なはんプラザにて表彰式を行います。

- 金の星賞**「セミのぬけがら」 山本晴香さん
大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎1年
- 銀の星賞**「狐とおばあさん」 西部 響さん
京都府立北嵯峨高等学校3年
- 銀の星賞**「竜の子」 藤川 諒子さん
徳島県立富岡東高等学校2年
- 銀の星賞**「月とトマト」 瀬口 愛奈さん
福岡県立修猷館高等学校3年



平成30年度 賢治祭に朗読で参加

今年の賢治祭は雨天のため花巻市立南城小学校体育館で行われ、本学から北村史織さん(1年)・芳野安樹さん(1年)の2名が「曠原淑女」と「野の師父」を朗読しました。

賢治祭とは

宮沢賢治の命日である9月21日に、花巻市桜町の賢治詩碑がある場所にて毎年行われている花巻市の行事です。

賢治詩碑がある場所は、賢治がひとりの農民として自炊生活をした羅須地人協会(らすちじんきょうかい)の建物があった場所になります。(現在その建物は、花巻農業高校の敷地内に移設・保存されております。)

例年、賢治祭では献花、賢治の詩の朗読、賢治が作った歌の合唱、野外劇などが行なわれるほか、かがり火を囲んで賢治について語る座談会が繰り広げられます。



就職・採用活動ルール

キャリアセンター副センター長 佐々木 清人

平成30年11月3日に開かれた記者会見で、日本経済団体連合会（経団連）会長から、これまで経団連が採用ルールとして定めてきた就職活動時期の廃止について言及がありました。就活ルールについては、学生の就職・採用活動の早期化・長期化を是正するために、国公私立大学等で構成する就職問題懇談会が、関係団体の総意として経済団体に長年にわたり要請を行い、2015年度卒業・修了予定者から3月広報活動開始、選考活動8月の合意スケジュールを策定しこれが基本となっています。その後、選考活動を6月とすることに変更になり現在に至っています。経団連のこの発言の背景には、世界的な高度情報化社会にあって、情報技術、IT関連企業等の人材不足から、海外企業が好待遇を武器に人材の囲い込みを始めているなどの理由が挙げられています。また、日程ルールに基づく新卒一括採用は日本独特の制度であり、通年採用が一般的な欧米企業との制度的な問題も内在しています。それぞれの国の労働法規、就業契約の違いはあるものの、現代のグローバル化社会にあって、日本型新卒一括採用方式が継続して行われるのかについては、今後議論されていくものと思われる。

富士大学では、大学独自の「イーハートブキャリアプラン」を作成し、入学時より学年進行で体系的に段階を追ったキャリア教育を展開しており、毎年実施している企業へのアンケート調査においても学生の忍耐力、勤労意欲について高い評価をいただいています。

現在、売り手市場の求人状況にありますが、今後、就活ルール廃止などの大きな社会変化にあって、希望ある人生設計のため、これまで培った知恵と精神力、そしてしっかりとした勤労観を持ち、職業選択をしてほしいと思っています。キャリアセンターでは、多くの企業情報を提供し、学生のために望ましい進路決定ができるよう支援していききたいと考えています。

就職活動

（オープンキャンパスでの発表）

経営法学科4年 小田原実穂（秋田：横手城南高校出身）



学業と部活動の両立をめざして富士大学に入学しました。朝練、授業、夜遅くまで練習、アルバイトもしたりとハードな毎日を送っていますが、授業には必ず出席し、1科目も落とすことなく全ての必要単位を修得しました。私たちは部活動の選手である前に学生です。勉学は怠らず、努力することで自分の頑張りがそのまま結果に繋がると思っています。

就職活動については、もともと特に志望企業が決まっていたわけではなく、やりたいことの軸も定まっていたわけではありません。だからこそ、3年生の夏からキャリアセンターに通い、企業の情報を収集し少しずつ自分の知識を広げていきました。4年生になり本格的に就職活動が始まり、毎日のようにキャリアセンターに通い、就職についての相談、エントリーシートや試験について、サポートしていただきました。どう書いたら企業側の目を引くエントリーシートが書けるか、どのようなことをアピールしたらよいかなど、細かい部分まで的確にアドバイスをしていただいたおかげで、自分の自信にも繋がり、筆記試験・作文試験・グループワーク・面接試験3回という難関を突破することができ、第一志望のマスコミから内定を頂くことができました。

実は私も4年前、このオープンキャンパスに参加して、みなさんと同じようにその席に座り、4年生の内定者の方のスピーチを聞いていました。優良企業に就職できるのはきっとすごい人なんだろうな、一握りしかないんだだろうなと思っていました。しかしそんなことは絶対にありません。自分の努力で結果はきっと付いてきます。またキャリアセンターをはじめ、様々な先生方がサポートしてくださるのでとても心強いです。みなさんもぜひ富士大学で可能性を広げて、やりたいことを見つけてください。私は富士大学で多くの人と出会い、多くの支えのおかげでとても成長することができました。残り少ない学生生活ですが、富士大学に来て学んだことをこれから先、役立てられるよう努力していききたいと思っています。

高齢者
公開講座

2018年

「富士大学シニア・オープンカレッジ」

担当 1 2 伊藤潔准教授 3 4 佐々木裕教授

人々が心豊かに生きる社会の醸成のため、また高齢社会における大学の地域貢献活動の一環として、富士大学の人的・物的教育資源を利用し、特に高齢者のための公開講座を開催することにより、地域における生涯学習機会の充実に寄与するものです。

定員 30名 受講料 無料

対象 花巻市・北上市に在住する主に65歳以上の方

申込先 富士大学附属地域経済文化研究所（富士大学総務・統括部総務係）
TEL. 0198-23-6221（代）

1 11月16日（金）6号館632教室 10時20分～11時50分
「家庭で簡単に行えるストレッチング（1）」 運動靴・運動靴

2 11月30日（金）6号館632教室 10時20分～11時50分
「家庭で簡単に行えるストレッチング（2）」 運動靴・運動靴

3 12月7日（金）階段教室 10時20分～11時50分
「心に音楽の喜びをー人生を豊かにする音楽のカー（1）」

4 12月21日（金）階段教室 10時20分～11時50分
「心に音楽の喜びをー人生を豊かにする音楽のカー（2）」

市民セミナーを実施しました

平成30年度 第35回富士大学花巻市民セミナー（花巻市と共催）

実施日時	9月12日、19日、26日、10月3日、17日、24日（全て水曜日） 19時～20時30分	
会場	花巻市生涯学習都市会館	
実施講義回数	6回（6講義）	
統一テーマ	「地域を考えるためのヒント」	
1	9月12日（水） 高橋秀憲教授 「地域と国家」	2
2	9月19日（水） 伊藤潔准教授 「スポーツと地域」	3
3	9月26日（水） 柳田久弥教授 「情報社会と地域」	4
4	10月3日（水） 吉田信一教授 「企業の地域貢献」	5
5	10月17日（水） 高橋榮幸教授 「福祉と地域」	6
6	10月24日（水） 影山一男教授 「経済と地域」	

平成30年度 第33回富士大学北上市民セミナー（花巻）

実施日時	10月2日、9日、16日、23日（全4回） 18時30分～20時	
会場	北上市生涯学習センター	
実施講義回数	4回（4講義）	
統一テーマ	「地域を考えるためのヒント」	
1	10月2日（火） 伊藤潔准教授 「スポーツと地域」	2
2	10月9日（火） 柳田久弥教授 「情報社会と地域」	3
3	10月16日（火） 吉田信一教授 「企業の地域貢献」	4
4	10月23日（火） 影山一男教授 「経済と地域」	

Results

FUJI UNIV. Sports Clubs 大会結果
2018.4.1～2018. 秋

() の数字は学年

剣道部

■東北学生剣道選手権大会・東北女子学生剣道選手権大会

5月13日(宮城:塩釜ガス体育館)
男子 大久保綾斗(2)・齋藤 翼(3) **3回戦進出**
女子 小林 美結(1) **ベスト16**
佐藤 真菜(3) 3回戦進出

■東北学生剣道優勝大会・東北女子学生剣道優勝大会

9月24日(宮城:塩釜ガス体育館)
男子 予選リーグ **2位** 決勝トーナメント **ベスト8**
女子 予選リーグ **1位** 決勝トーナメント **ベスト8**

ゴルフ部

■関東大学春季Eブロック対抗戦

6月3～4日(栃木:セブンハンドレッドクラブ)
優勝 (Dブロック昇格)
最優秀選手賞 小形 陸(1)

■関東女子大学春季Cブロック対抗戦

5月6～7日(群馬:サンコー 72カントリークラブ)
第5位 (Cブロック残留)

サッカー部

■岩手県サッカー選手権 兼

天皇杯全日本サッカー選手権岩手代表決定戦

11月27日～4月22日(いわぎんスタジアム他)
準決勝 対 大宮クラブ 1-2

■東北地区大学サッカーリーグ1部

5月12日～10月27日全14節(花巻スポーツキャンプむら他)
14戦10勝2分2敗 **2位**

■インディペンデンスリーグ東北

5月13日～10月28日全14節(富士大学人工芝サッカー場他)
14戦9勝1分4敗 **2位**

■総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント東北予選

6月30日～7月16日(みやぎ生協めぐみ野サッカー場他)
2回戦 対 青森中央学院大学 10-0
準々決勝 対 岩手大学 2-0
準決勝 対 東北学院大学 1-2 **3位**

■国民体育大会サッカー競技成年男子

9月30日～10月3日(福井:テクノポート福井スタジアムほか)
成年男子1回戦 対 鹿児島県 1-0
2回戦 対 宮崎県 0-2 **ベスト8**

岩手県は富士大主体のチームで出場し8強入りを果たした。

本学のメンバーは次の通り:

谷地朝日(2) 瀬戸康平(4) 久保拓夢(4) 志村大海(4)
中川和彦(1) 伊藤健太(Cap.) (4) 清水 光(4)
石塚 亮(3) 田村孝洋(4) 弘津拓真(4) 阿部亮太(1)

■岩手県サッカー選手権 兼 天皇杯

全日本サッカー選手権岩手代表決定戦

11月27日～4月22日(いわぎんスタジアム他)
準決勝 対 盛岡ゼブラ 1-0
決勝 対 大宮クラブ 3-0

代表決定戦 対 グルージャ盛岡 1-6 **準優勝**

■東北社会人サッカーリーグ1部

4月8日～11月4日全18節(富士大学サッカー場他)
18戦9勝4分5敗 **4位**

■全国社会人サッカー選手権大会東北予選会

7月28～30日(岩手フットボールセンターほか)
1回戦 対 猿田興業 2-1
準決勝 対 FCブリメロ 1-0
決勝 対 FCカンジュ岩手 3-0
優勝 2年連続2回目

全国社会人サッカー選手権大会出場決定

■全国社会人サッカー選手権大会

10月20～24日(茨城県:カシマスタジアムほか)
1回戦 対 三菱水島FC 0-3

硬式野球部

■北東北大学野球春季リーグ戦 1部リーグ

4月21日～5月28日(岩手:花巻球場他)
8勝2敗 **優勝**

第67回全日本大学野球選手権大会 出場決定(6年連続13回目)

<個人賞> 最優秀選手賞 村上 英(4)
最多盗塁賞 嘉瀬 建(3)
最優秀防御率賞(0.64) 村上 英(4)
<ベストナイン> 投手 村上 英(4) 初
一塁手 加藤元気(2) 初
外野手 楠研次郎(4) 6回目

■第67回全日本大学野球選手権大会

6月11日～17日(東京:明治神宮球場他)
1回戦 対 中京大学 2-4

■東北地区大学野球選手権大会

6月28日～7月1日(宮城:新田仙台市民球場他)
2回戦 対 山形大学 10-0
3回戦 対 ノースアジア大学 11-5
準決勝 対 八戸学院大学 4-2
決勝 対 東北福祉大学 6-2 **優勝**

第49回明治神宮野球大会 東北地区代表決定戦出場決定

<個人賞> 最優秀選手賞 清滝太郎(4)
最優秀投手賞 佐々木健(4)

■北東北大学野球秋季リーグ戦 1部リーグ

8月25日～10月1日(岩手:遠野野球場他)
8勝2敗 **優勝**

<個人賞> 最優秀選手賞 楠研次郎(4) 初
首位打者賞(0.462) 楠研次郎(4) 2回目
最多打点賞(10打点) 吉田 開(3) 初
<ベストナイン> 投手 佐々木健(4) 初
捕手 佐藤大雅(1) 初
遊撃手 山城 響(1) 初
外野手 楠研次郎(4) 7回目
指名打者 吉田 開(3) 初

柔道部

■東北学生柔道優勝大会

5月20日(宮城県武道館)

男子 一部優勝大会の部 団体 **5位**
優秀選手 宗石 響(1)
女子 一部5人制の部 団体 **2位** 全日本大会出場決定
優秀選手 佐藤夢子(3)

■全日本学生女子柔道優勝大会

6月23～24日(東京:日本武道館)
1回戦 対 金沢学院大学 1-4

■東北学生柔道体重別選手権大会

9月1-2日(秋田県立武道館)
女子 78kg級 高宮美咲(3) **第3位**
78kg超級 佐藤夢子(3) **2位**

硬式野球部

■東北地区大学春季リーグ戦 1部リーグ

4月14日～6月10日(花巻球場他)
8勝6敗 **第3位**

<最優秀投手賞> 菅原洋平(4) 2回目

■東北地区大学体育大会

6月30日～7月1日(青森:五所川原市営球場他)
1回戦 対 東北学院大学 13-3 (5回コールド)
2回戦 対 秋田大学 10-8
準決勝 対 青森大学 2-8
第3位

■東北地区大学秋季リーグ戦 1部リーグ

9月3～30日(宮城:仙台市民球場他)
4勝3敗 **第3位**

<敢闘賞> 菊田直希(3)

女子ソフトボール部

■北海道・東北地区大学ソフトボール春季大会

4月29～30日(宮城:蔵王町総合運動公園)
準決勝 対 東北福祉大学 A 7-6
決勝 対 東北福祉大学 A 6-3

■北海道・東北地区大学ソフトボール選手権大会 兼

全日本大学ソフトボール選手権大会 北海道・東北地区予選会

5月12～13日(山形:西置賜郡白鷹町ソフトボール場)
決勝 対 東北福祉大学 5-0

優勝 2年連続6回目 全日本大学選手権出場決定

■東日本大学ソフトボール選手権大会

7月5～8日(東京:町田市市民球場)
1回戦 対 早稲田大学 3-5

■東北総合女子ソフトボール選手権大会 兼

全日本総合女子ソフトボール選手権大会東北予選会

7月21～22日(福島:相馬光陽ソフトボール場)
準決勝 対 佐川急便仙台 14-1
決勝 対 東北福祉大学 7-2

優勝 5年連続11回目 全日本総合女子選手権大会出場決定

■文部科学大臣杯全日本大学ソフトボール選手権大会

8月31日～9月3日(石川:金沢市専光寺ソフトボール場)
1回戦 対 園田学園女子大学 0-6

■全日本総合女子ソフトボール選手権大会

9月15～18日(茨城:山吹運動公園野球場)
1回戦 対 VONDS市原ソフトボールクラブ 1-0
2回戦 対 トヨタ自動車レッドテリアーズ 0-8

■第2回アジア大学女子ソフトボール選手権大会

10月23～26日(中国・南京市)
全日本女子選抜メンバーとして3名が選出された。

金田汐央里(4) 内野手

相馬 里砂(4) 捕手

梁瀬 裕花(3) 外野手

日本 **第3位**

卓球部

■全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部)

7月12～15日(東京:墨田区総合体育館)
女子予選リーグ
1戦目 対 朝日大学 0-3
2戦目 対 東京経済大学 0-3

■東北学生秋季リーグ戦

8月20～22日(福島:南相馬市総合体育館)
男子1部リーグ **第4位**

対 東北大学 4-2

対 東北福祉大学 0-4

対 東日本国際大学 4-2

対 東北学院大学 2-4

対 八戸工業大学 0-4

テニス部

■東北学生テニス春季トーナメント

4月29日～5月3日(宮城:泉総合運動場他)
男子ダブルス 田村融佑(4)・田村(岩手医大)組 **第3位**
伊藤悠馬(2)・村山(東北学院)組 **第3位**
全日本学生選手権大会予選出場決定

バスケットボール部

■北奥羽地区大学春季バスケットボール大会

5月26～27日(青森:弘前大学体育館)
男子準決勝 対 秋田大学 64-66
3位決定戦 対 青森中央学院大学 72-76

ベスト4

<優秀賞> 磯谷公哉(4)
女子準決勝 対 八戸学院大学 74-84
3位決定戦 対 弘前大学 109-57

第3位

<優秀賞> 高橋里奈(3)

■東北地区大学体育大会

6月22～24日(福島:あづま総合体育館)
男子準決勝 対 岩手大学 77-72
決勝 対 仙台大学 54-73

準優勝

女子2回戦 対 東北学院大学 61-65
ベスト8

バドミントン部

■東北学生バドミントン選手権大会

5月26日～31日(宮城:カメイアリーナ仙台)
男子団体1部リーグ **2位** 全日本学生選手権出場権獲得
男子ダブルス 佐藤達哉(3)・菅原慎也(3)組 **ベスト8**
倉田一樹(3)・小田桐綾(3)組 **ベスト8**

■東北地区大学体育大会

6月30日～7月1日(青森県武道館)
男子団体 準々決勝 対 東北福祉大学 3-2
準決勝 対 仙台大学 3-1
決勝 対 弘前大学 3-2
優勝

■東日本学生バドミントン選手権大会

8月31日～9月7日(宮城:カメイアリーナ仙台)
男子団体 2回戦 対 中央大学 0-3

男子ダブルス 佐藤達哉(3)・菅原慎也(3)組 4回戦進出
男子シングルス 菅原慎也(3) 4回戦進出

バレーボール部

■東北バレーボール大学春季リーグ

4月29日～5月27日(岩手県立大体育館他)
男子 1部リーグ **8位**

入替戦の結果により2部B降格

<サーブ賞> 第3位 佐藤隼人(2)

<ベストスコアラー賞> 第1位 佐藤隼人(2)

■東北バレーボール大学秋季リーグ

9月22日～10月14日(岩手県立大体育館他)
男子 2部北リーグ **1位**

入替戦の結果により2部B残留

<優秀選手賞> 石垣拓海(3)

ハンドボール部

■東北学生ハンドボール春季リーグ

5月9～13日(福島県石川町)
男子 男子1部リーグ **優勝**

<ベストセブン> 阿部恭介(4) 白石光希(4) 富樫侑也(3)

女子 女子Aリーグ **優勝**

<得点王> 高田 静(4)

<ベストセブン> 古見早夏(4) 佐藤望美(4)

高田 静(4)

男女とも東日本学生選手権大会出場決定

■東日本学生ハンドボール選手権大会

8月16～18日(北海道:函館アリーナ)
男子1戦目 対 青山学院大学 17-24

2戦目 対 北海道大学 23-26

3戦目 対 信州大学 37-18

1勝2敗 B組 **3位**

女子1戦目 対 金沢大学 30-24

2戦目 対 札幌国際大学 30-13

3戦目 対 順天堂大学 28-20

3勝 A組 **優勝**

女子は全日本学生選手権大会出場決定(13年連続13回目)

<個人表彰(特別賞)> 高田 静(4)

■東北学生ハンドボール秋季リーグ

8月30日～9月30日(宮城:若林体育館他)

男子 男子1部リーグ **優勝**

<ベストセブン> 白石光希(4) 比嘉遼汰郎(4) 富樫侑也(3)

女子 Aリーグ **優勝**

<得点王> 高田 静(4)

<ベストセブン> 佐藤望美(4) 高田 静(4)

金 甫炫(2)

男女ともインカレ出場権獲得



全日本大学野球選手権大会 1回戦 対中京大学

全日本大学野球選手権大会1回戦、6月12日(火)9時から明治神宮球場で行われた中京大学戦は2-4で敗退いたしました。皆さんの応援ありがとうございました。



第52回紫陵祭 & オープンキャンパス

10月13日(土)・14日(日)の二日間、第52回紫陵祭&オープンキャンパスが行われました。秋晴れに恵まれて、模擬店などの数もほぼ例年通りとなり、学生たちが協力し合い新しいイベントを企画したりしていました。

学友会のステージ企画、近隣の中学校の吹奏楽部による演奏、芸能人お笑いライブ(カミナリさん、浜辺のウルフさん、あぁ～しらきさん)には一般の方も多数訪れ、盛況となりました。

同時開催されたオープンキャンパスには、制服姿の高校生とご家族が訪れ、本学の教員や学生たちに案内され学内を見学しました。

また、同時開催の「こどもサッカー教室」、「大学院講演会」、「図書館公開講座」、「子どもの体づくり教室」、「富士大学学長杯学童少年軟式野球大会」、「女子カフェ」などには多数のご参加をいただきました。

ご来場くださいました皆様、ご協賛・ご協力くださいました皆様に心より感謝申し上げます。

キラキラはなまき銀河鉄道ナイター

7月31日(火)にメットライフドーム(西武ドーム)にて行われた「キラキラはなまき銀河鉄道ナイター」へ、本学関係者も応援参加してきました。

本学卒業生のがんばりに応援団も盛り上がり、先発の多和田投手は完投の11勝目。山川選手は特大の27号ホームラン。外崎選手はヒットと押し出しの打点でチームの勝利に貢献しました。本学青木理事長、上田花巻市長も観戦しました。



JR新花巻駅に「花巻ゆかりのプロ野球選手」展示スペースが設置されました

JR新花巻駅構内、待合室奥の展示スペースが2018年8月4日よりリニューアルオープンし、「花巻ゆかりのプロ野球選手」コーナーに本学OB選手のグッズが展示されています。



【本学OBプロ野球選手】
 広島東洋カープ
 中村恭平投手
 埼玉西武ライオンズ
 山川穂高選手
 外崎修汰選手
 多和田真三郎投手
 阪神タイガース
 小野泰己投手



花巻市・富士大学・花巻東高校出身の現役プロ野球11選手とグッズの展示
 (ユニホームやサインボール、野球用具など)



高鷹雅也サッカー部監督が全日本大学選抜スイス遠征に同行

本学サッカー部の高鷹雅也監督がU-19全日本大学選抜スイス遠征(7/24～31)に総務として同行しました。

スイス、バーゼルでトレーニングマッチを行い、第5回FC AESCH U-19国際トーナメント大会に出場いたしました。



平成30年プロ野球ドラフト会議

10月25日(木)に行われたプロ野球ドラフト会議において、硬式野球部4年の佐藤龍世(さとうりゅうせい)内野手が埼玉西武ライオンズから7位指名を、鈴木翔天(すずき そら)投手が東北楽天ゴールデンイーグルスから8位指名を受けました。

記者会見に臨んだ両選手は次のようにコメントしました。

【佐藤選手】指名されて4年間の努力が報われた気持ち。西武は先輩がたくさんいて親近感がわく。一軍に上がって、岩手の人たちに応援してもらえるようにがんばりたい。

【鈴木投手】指名を受けてうれしい。楽天はファンにとっても愛されている球団。ゲームを作る、応援される選手になりたい。

二人は、お互いが対戦することになったらの質問に、絶対負けないと答えながらも、共に指名されたことをとても喜んでいました。

本学硬式野球部からドラフトで指名を受けたのは今回の2人を合わせて9人となりました。2人同時に指名を受けるのは初めてとなります。



2019年度 入試案内

経済学部 / 経済学科・経営法学科

出願期間	AO入試・社会人入試			推薦入試		地域・高校 連携協定校 特別入試	職業会計人・ 商業科教員養成 特待生入試	特待生入試		一般入試		センター入試		編入・転入入試		留学生 入試
	I 期	II 期	III 期	指定校推薦	スポーツ推薦	公募推薦		I 期	II 期	I 期	II 期	I 期	II 期	I 期	II 期	
	自己PRカード提出期間			I 期	II 期			I 期	II 期	I 期	II 期	I 期	II 期	I 期	II 期	
	8/1(水) 8/24(金)	8/27(月) 9/21(金)	9/25(火) 11/30(金)	10/9(火)	11/19(月)	11/19(月)	11/19(月)	11/19(月)	1/7(月)	1/7(月)	2/8(金)	1/7(月)	2/8(金)	10/9(火)	1/7(月)	1/7(月)
	願書等提出期間			10/26(金) 消印有効	12/7(金) 消印有効	12/7(金) 消印有効	12/7(金) 消印有効	12/7(金) 消印有効	2/6(水) 消印有効	2/6(水) 消印有効	2/28(木) 消印有効	2/6(水) 消印有効	2/28(木) 消印有効	10/26(金) 消印有効	2/6(水) 消印有効	2/6(水) 消印有効
試験会場	本学・札幌		本学・札幌・沖縄	本学		本学・札幌	本学	本学		本学・仙台・東京		———		本学		本学
試験日	面接試験 9/7(金)	面接試験 10/5(金)	面接試験 12/14(金)	11/2(金)	12/14(金)	12/14(金)	12/14(金)	12/14(金)	2/13(水)	2/13(水)	3/8(金)	大学入試センター試験 平成31年1/19(土)・1/20(日)		11/2(金)	2/13(水)	2/13(水)

※詳しくは「富士大学入学選抜実施要項・入学願書 2019」またはウェブサイトをご覧ください。

第1回富士大学学長杯学童少年軟式野球大会

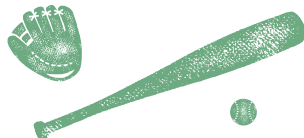
第1回富士大学学長杯 学童少年軟式野球大会が、紫陵祭にあわせ 10月13日(土)、14日(日)の2日間にわたって開催されました。

本大会は、「岩手県内・花巻市内の学童チームが互いに交流・親睦を深め、健全なる青少年の育成に寄与する」ことを目的とし、富士大学と富士大学校友会が実行委員会として企画しました。

開会式では、若葉小学校5年生の中村君が「野球が出来ることに感謝し、ユニフォームが真っ黒になるまで全力でプレーすることを誓います」と元気に宣誓しました。



秋晴れの中、全16チームが各球場で熱戦を繰り広げ、準決勝での逆転サヨナラゲームなど劇的な試合もありました。決勝は、湯口ファイターズと西南JBCが対戦し、5対9で西南JBCが勝利し第1回大会の優勝チームとなりました。大会運営に際して審判員の方々やたくさんの団体からご協力をいただき、感謝申し上げます。



第2回アジア大学女子ソフトボール選手権大会 3名が日本代表として出場！

10月23日(火)～27日(土)に中国・南京市で行われた第2回アジア大学女子ソフトボール選手権大会に、女子ソフトボール部の3名が日本代表選手として参加しました。日本チームは8チーム中3位の成績を残しました。

左から
金田汐央内野手(4年)
相馬里砂捕手(4年)
築瀬裕花外野手(3年)



OB Message 新井田 開さん Kai Niita

平成30年 経済学部経営法学科卒
●出身：岩手県立花巻北高校
●勤務：矢巾町役場



私は平成30年4月1日に岩手県内の町役場に入庁しました。

以前から、大好きな岩手県のために働きたいと考えており、中でも市町村で働くことが自分には合っていると思っていたので町職員を志望しました。

入庁して11月で7か月目を迎えましたが、正直なところ仕事と生活のリズムを構築することと周りの環境を理解すること、仕事内容を学ぶことで大変ですので、OBメッセージとしてしっかりしたものが書けるかどうか分かりませんが大目に見ていただければと思います。

学生時代は自転車競技部に所属していました。大学から始めたので部員のみんなについていけるようになるまで大変でしたが、その過程の中で、自分で工夫する力や忍耐力がついたと感じています。今部活を頑張っている皆さんも、今部活動で汗を流している時間は無駄ではないので、努力を重ねて結果を出してくれると富士大学OBとしてとても嬉しいです。私自身も来年からはレースに復帰できたらと考えています。

私が学生の皆さんに伝えたいことは、大学在学中に柔軟な考え方や発想力を養い、そして型破りな生き方をしてほしいということです。簡単な作業はコンピュータが処理する時代が来ています。ある程度のことはAIがやってくれる時代もそう遠くはありません。私たちが思っている以上に時代は急加速しています。これからの時代に必要なのは、急速な時代の流れについていける柔軟な考え方や発想力、そして型破りな生き方です。これらは誰かに教えてもらって身につくものではありません。とにかくいろいろなことに興味・関心をもって大学生活を送ってください。

1人の富士大学OBとして学生の皆さんに何かしらのいい影響を与えていければと思います。